

## おともだちをさがしに

瀬戸内町立古仁屋小学校 一年 三島 みしま つくし

あまみおおしまのもりのおくに「くうちちゃん」というあまみのくろうさぎのおんなのこがいました。くうちちゃんは、とてもげんきなおんなのこです。

にちようびのあさ、くうちちゃんはおともだちをさがしに、ともだちもりへでかけました。しばらくすると、

「きゅろろろろ。」

と、とてもきれいなこえがきこえてきました。

「きゅろろろろ。」

くうちちゃんは、まねっこをしながら、こえがきこえるほうへあるいていきました。

すると、そこにあかしようびんの「あっちゃちゃん」がいました。

「さつきから、わたしのきれいななきごえをまねしていたのはあなた。」

「そうよ。いっしょにおともだちをさがしにいかない。」

「いやよ。わたしは、ここでうたうのがすきな。」

「それならわたしといっしょにうたいながらすすみましょう。」

「わかったわ。ひとりでうたうよりたのしそうね。さあ、いきましよう。」

くうちちゃんとあっちゃちゃんは、なかよくうたいながら、もりをすすみました。ふたりのきれいなうたごえにさわれて、きのかげからはずかしがりやのるりかけす「るりくん」がこつちをみています。くうちちゃんはるりくをみつめて、

「あつ。」

と、ゆびをさしました。るりくんは、おどろいてきからおっこちてしまいました。

「だいじょうぶ。ごめんね。」

くうちちゃんは、るりくんにあやまりました。

「いいよ。ところでふたりはどこにいくんだい。」

「わたしは、おともだちをさがしてこのもりにきたの。」

わたしたちとおともだちにならない。」

「いやだね。ぼくはうたうのがにがてなんだ。」

「それなら、うたわなくていいから、このもりのみちあんないをしてくれない。」

「わかったよ。みちあんないならぼくにまかせて。」

くうちちゃん、あっちゃちゃん、るりくんのさんには、うみへむかつてすすむことにしました。とちゅうでおなかですいたさんには、おいしいきのみをたべたり、つめたいかわのみずをのんだりしながらすすみました。

すると、みずいろのきれいなうみがみえてきました。

「きれい。」

はじめてうみをみたくうちゃんとあっちゃんは、

「すごおい。」

と、こえをあわせていいました。くうちゃんは、はしつてうみへかけよりました。あっちゃんとりくんも、ならんでとんでいきます。さんには、しばらくうみべでみずをかけあつてあそびました。

「ぶくぶくぶくぶく。」

うみのなかから、あまみほしぞらぶぐの「ふうくん」がかおをだしました。

「ずいぶん、たのしそうだね。ぼくもなかまにいれてよ。」

「もちろん、いいよ。」

くうちゃんは、いいました。

よには、おにごっこやだるまさんがころんだ、そして、かくれんぼや、かいがらひろいをしてあそびました。

きようはじめてあつたよには、あしたも、あさつても、またつぎのひも、いつしよにあそぶやくそくをしました。

こんどは、どこにいつて、どんなあそびをするか、まいにちがたのしみです。